小学校３年生　社会科　学習指導案

１．題材　　　　地産地消について知ろう

２．ねらい　　　学校給食で箕面産の農産物の活用がすすめられていることを知る。

　　【食に関する指導の視点】

社会性　　　　　給食で食べているものが、地域で生産されていることを知る。

食品の選択能力　地産地消について知り、地元のものを選ぶことの大切さを知る。

感謝の心　　　　地元の人が生産したものを大切に食べようとする気持ちをもつ。

３．評価規準　・給食で食べている箕面の農産物について知る。

　　　　　　　・地産地消をすすめる生産者の苦労を知り、感謝して食べる態度を養う。

　　　　　　　・地産地消の意義について理解し、自分たちの暮らしに興味をもつ。

４．展開

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 子どもたちの活動 | 授業者の支援・指導のポイント | 準備物 | 評価 |
| 導入 | ある日の給食メニューから、箕面産の食材をさがす予想したものに○をつける給食材料の産地について知る（答え合わせ） | 給食のメニューを紹介する・ごはん・牛乳・鶏肉のマーマレード煮・みそ汁（米・牛乳・鶏肉・大根・玉葱・人参・しいたけ・ゆずマーマレード・ほうれんそう）・○○産＝○○で作られたもの・食材を日本地図と結んでいく・給食では毎日使っているわけではないことにもふれるみのお産の食べ物を食べると、どんなよいことがあるかさがそう | スライド給食写真日本地図 | 興味を持って予想しているか（学びに向かう力、人間性等） |
| 展開 | 課題を知る箕面産の説明を聞き、気づいたことをワークシートに記入する・ひとりタイム・ふたりタイムとなりの人と共有するメモからよいところを発表する・全体共有地産地消について知る箕面の野菜を売っている場所を知る | ・新鮮・作っている場所はどこだろう　知っている場所で作っていたら安心・遠くから運ぶと燃料と時間がかかる・農家のメッセージを聞く・市役所の人の話を聞く（荒れ地の活用）発表の内容を板書し、キーワードになる言葉にアンダーラインをひいて確認していくワークシートにまとめる・しんせんなものを食べられる・作っている人や場所がわかるので安心・のう家さん（作っている人）の思いが伝わる・みどり（環境）が守られる地産地消という言葉を聞いたことがあるかな地元で生産（つくられた）されたものを地元で消費（食べる）することを地産地消という①自分の畑で採れたものを自分の家で食べる②学校の畑で採れた野菜を給食で使う③無人販売所・朝市で箕面産の野菜を買って食べる④箕面市の畑で採れたものを直接買う箕面の野菜を買ったことがあるかな朝市や販売所を紹介する→売れる＝種・機械・肥料が買える→おいしいと伝える＝やる気・やりがい | 畑の写真農家ﾑｰﾋﾞｰ市役所ﾑｰﾋﾞｰ朝市・販売所のスライド | 箕面産のよいところについて考え、ワークシートに記入しているか（思考・判断・表現） |
| まとめ | わかったこと、感じたことを書く発表する | 地産地消のよい点がわかったか |  | 地産地消のよい点がわかったか（知・理） |